

消防設備士講習受講申請書（講習区分ごとに作成）

太枠内はすべて記入すること。※印のついた欄は記入しないでください。

埼玉県知事殿		令和2年 月 日（記入した日）	
消防法第17条の10の規定により、次のとおり講習を受講したいので申請します。		（自署） 申請者 氏名	
名前	姓	名	
ヨミガナ	セイ	メイ	
生年月日	元号（○で囲む）	年	月 日
	昭和 3 平成 4		
生年月日：和暦で記入のこと。「昭和=3、平成=4」選んで○で囲む。年月日は二桁で記入する（例：昭和61年2月=㊦6102）。			
本籍地	本籍地：本籍地が免状と異なっている場合 ◎現在の本籍地を記入すること。 ◎異なっている理由を記入する→（ ）		
住所	〒 -		
電話	自宅	携帯	日中ご連絡 する場 合が あり ます。
勤務先名	電話		

写 真

縦4cm・横3cm

6ヶ月以内撮影
正面からの上三分
身像で、顔はつ
きりわかり、無
帽、無背景のもの
コピーは不可。

今回受講する講習区分（受講対象となる免状の種類によって区分が分かれるので、『消防設備士講習案内』の開催日を確認のこと。）

 消火設備(第1・2・3類)
 警報設備(第4・7類)
 避難設備・消火器(第5・6類)
 を入れる又は塗りつぶす。

今回受講する区分の免状記載事項（同じ類で甲・乙両方保有の場合は「甲」を記入）

受講する区分の免状種類	交付年月日（元号は数字を○で囲む）	交付番号（5桁）	交付知事
種 第 類	昭和 = 3 平成 = 4 令和 = 5	年 月 日	
種 第 類	昭和 = 3 平成 = 4 令和 = 5	年 月 日	
種 第 類	昭和 = 3 平成 = 4 令和 = 5	年 月 日	

※受講番号等

受講日

受講番号

受講希望日

講習案内の区分ごとの講習開催日を参照のこと。	11月 日	左記希望日が定員に達していた場合、協会が指定する同区分内の別の開催日に変更可能な場合、右欄「可」に丸を付けてください。	講習日の変更 可
------------------------	-------	---	-------------

※科目免除

可 不可

条件付

《区分》

消 警 避・消

《日付》

講習科目の一部免除申請（該当者のみ記入）

【過去6ヶ月以内の受講】（埼玉県以外）		
講習区分	修了年月日	実施知事
特殊設備	年 月 日	
消火設備	年 月 日	
警報設備	年 月 日	
避難・消火器	年 月 日	

今回、埼玉県で複数の講習区分を受講する予定があれば記入する。

受講申請している区分に○印をつける。

消火設備

警報設備

避難設備・消火器

証紙の裏面貼付 あり

【手数料貼付欄】 埼玉県収入証紙（7,000円分）をこの欄に貼る。

●収入印紙は使用不可

●消印、割り印、重ね貼り、テープの使用厳禁

※枚数が多く枠内に貼り切れない場合は裏面に貼付する。

提出様式②

≪講習区分ごとに作成≫

氏名	
----	--

※協会使用欄

受講区分： 消火 警報 避・消

受講日：

受講番号：

消防設備士免状コピー（おもて面・うら面）貼付け台紙

※文字・数字が読めないもの、縮小は不可。

◆少し拡大してコピーし、それぞれしっかりと貼ってください。

≪免状コピー おもて面≫※写真がある側

免状のおもて面をこの位置に貼る

≪免状コピー うら面≫※講習履歴、備考がある側

免状のうら面をこの位置に貼る

◆協会あて送付物チェック◆

- 提出様式①『消防設備士講習受講申請書』（受講区分ごとに作成し提出する）
- 提出様式②『消防設備士免状コピー（おもて・うらを貼付）』（受講区分ごとに作成し提出する）
- 長形3号封筒（84円切手貼付・受講生本人宛住所氏名、敬称は「様」をあらかじめ記入のこと。）（受講区分ごとに作成・送付）